

英語科学習指導案

授業展開 : 14:00~14:50
展開学級 :
展開場所 :
授業者 :
協議会 : 15:00~16:30 (被服室)

平成30年度 市教研英語部会 研究テーマ

主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図る資質・能力の育成

- 1 主体的・対話的で深い学びをするための学習指導の工夫
- 2 小中のつながりを意識した授業改善

【本授業における市教研英語部会研究テーマとの関連(見どころ)】

1 「主体的・対話的で深い学びをするための学習指導の工夫」について

(1) 主体的な学びの視点

主体的な学びとして、本単元では会話のトピックについて「行ったことのある場所」や「先週末にしたこと」、「好きな音楽」など、生徒が興味を持っているトピックについて自由に選ばせたい。これにより、生徒自身が興味関心をもつ質問をすることで、学習に主体的に取り組むことができる考える。

(2) 対話的な学びの視点

本単元では、ペアで会話を広げること、相手に詳しい説明を求めることである。対話を継続するためには、つなぎことばや相づち、質問などが大切である。これらを指導してペアで1分以上の会話を続けることを目標に、ペアで自由に練習させることで対話的な学びができる考えた。

(3) 深い学びの視点

ペアでのトピックを設定する際に、どのようなテーマで会話が進むのか、また、どのようなつなぎことばや相づちを使えば会話が続くのかについて考えさせたい。また、相手にどのような質問をすれば会話を継続できるのか、日本語での会話と比較しながら、様々な表現で質問することを考えさせることで深い学びにつなげたいと考える。

2 「小中のつながりを意識した授業改善」

小学校外国語活動で慣れ親しんだ、聞いたり話したりする活動を発展させ、コミュニケーションを図ろうとする態度を、ペアワークやグループワークにつなげたい。また、チャンツやゲーム活動などを活用し、小中を通じてのコミュニケーション能力を育成したい。

英語科学習指導案

日 時 平成 30 年 6 月 19 日(火)

学 校 名

展 開 学 級

指 導 者

単元名 New Crown 3 Lesson3 Rakugo Goes Overseas

1 単元の目標

- (1) 詳しい説明を求めながら、会話を続けることができる。
- (2) 新聞のインタビュー記事を読んで、その要点を読み取ることができる。
- (3) 間違ふことを恐れず積極的に会話を続けようとしている。
- (4) 現在完了（完了用法・経験用法）に関する知識を身につけている。

・本単元の指導に当たっての考え方

本単元は、日本の伝統文化およびそれを世界に発信することに関心を高め、日本の笑いの伝統文化について知り、世界に発信したい日本の文化について考えることを目標としている。そのため、まずは健とエマの英語落語についての会話を聞き、日本の伝統文化について関心を高める。その後、落語家の大島希巳江さんの落語についての説明、英語落語の講演後に受けたインタビューの新聞記事を読んで、世界に発信したい日本の文化について考えさせ、その文化に自分自身の意志や考えを入れて表現する力をつける。

また、デジタル教科書や大型スクリーンを用いて生徒の関心を高めたり、生徒にとって身近な物を題材として用いたりすることにより生徒の興味関心を喚起することで学習意欲をより高める。

本校英語科の研究主題は「自らの意志や考えを表現しようとする生徒の育成」である。さらに本校3学年の「話すこと（やりとり）」の「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標は「日常生活の様々な場面で、尋ねられたことに対して、自分の気持ちや考えを入れつつ、応じることができる。」である。この2つを関連させ、本単元では自分の意志や考えを積極的に表現するための活動（Q&A）を本単元の USE-SPEAK「会話を広げよう」で、表現できるようにする。

2 生徒の実態

3 単元の評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
《言語活動への取組》 間違ふことを恐れず積極的に会話を続けようとしている。	《話すこと》 詳しい説明を求めながら、会話を続けることができる。	《読むこと》 新聞のインタビュー記事を読んで、その要点を読み取ることができる。	《言語についての知識》 現在完了（完了用法・経験用法）に関する知識を身につけている。

4 指導と評価の計画（8時間）

時間	○ねらい ・学習活動	単元の評価規準	評価方法
1	○現在完了（完了用法）を理解する。 ○色々な質問表現を練習し、答える（Q&A）。 ・文法事項の導入、ドリル ・新出語句の導入、練習	エ	活動の観察 後日ペーパーテスト
2	○現在完了（完了用法）を使う。 ・本文の導入、内容理解 ・Practice:Listen,Speak,Write	ア エ	後日ペーパーテスト
3 (本時)	○現在完了（経験用法）を理解する。 ○色々な質問表現を練習し、答える（Q&A）。 ・文法事項の導入、ドリル	ア エ	活動の観察 ワークシートの点検
4	○現在完了（経験用法）を使う。 ・新出語句の導入、練習 ・本文の導入、内容理解 ・Practice:Listen,Speak,Write	ア エ	後日ペーパーテスト
5	○英語落語についての意見文を読む。 ○色々な質問表現を練習し、答える（Q&A） ・新出語句の導入、練習	ア ウ	活動の観察 ワークシートの点検
6	○英語落語についての意見文を読む。 ・本文の導入、本文の内容理解、本文の音読 ・ポストリーディング活動	ウ	後日ペーパーテスト
7	○詳しい説明を求めたりして、会話を広げる。 ○色々な質問表現を練習し、答える（Q&A） ・モデル会話例の導入、内容理解 ・スキットを使った会話練習	ア イ	活動の観察 後日ペーパーテスト
8	○Lesson3で学習したことを振り返る。 ・文法事項の復習 ・発音とつづり	エ	後日ペーパーテスト

5 本時の指導

(1) 本時の目標

行ったことがある場所について問答できる。[コミュニケーションへの関心・意欲・態度]

(2) 本時の展開 ○：指導 ◎：評価 ●：つまずき等への手立て

過程	時間	学習内容と活動	形態	指導と評価
Greeting& warm-up	10	<ul style="list-style-type: none"> ・英語で挨拶を行う ・チャンツを行う ①現在完了（継続）の復習 ②小中連携の一例 ・Q&Aを行う（帯活動） 	<p>一斉</p> <p>ペア</p>	<p>○指示は基本的に英語で行う。</p> <p>○楽しそうに行う。</p> <p>○毎回違うペアで行う。</p> <p>●会話が進まないペアに声をかける。</p>
Oral Introduction	10	<ul style="list-style-type: none"> ・教師が何を言っているのか考え、答える。 T: Look at the TV. (動画を観る) What was the question? S: "Have you ever been to Zozo Marine Stadium?" T: Good. Repeat after me. "Have you ever been to the Zozo Marine Stadium?" S: (Students repeat.) T: OK. What was the answer? S: Yes, I have. I have been to Zozo Marine Stadium many times. T: Good. Repeat. I have been to Zozo Marine Stadium many times. S: (Students repeat.) T: How did I share? S: Mr.Sakuma has been to Zozo Marine Stadium many times. T: Good! Repeat! S: (Students repeat) ・千葉以外の県、海外についても同様に行う。 ・重要表現の確認をして、練習をする。 	一斉	<p>○大型テレビで動画や画像を見せながら導入する。</p> <p>Level 1 校長先生</p> <p>Level 2 担任の先生（県外）</p> <p>Level 3 学年の先生（海外）</p> <p>●大型テレビを使い、疑問文の流れ、答え方、報告する文、回数言い方を練習する。</p>

Interview	25	<p>・本時の目標を確認する。</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">行ったことがある人を探そう</p> <p>・説明を聞く。 【ゲームのルール】</p> <p>① 4人（3人）グループで行う。</p> <p>② クラスメートが行ったことがありそうな場所を各レベル5つ考える（途中で変えても構わない）</p> <p>Level 1=千葉（市、県）の名所 Level 2=千葉以外の県（自然教室や修学旅行を除く） Level 3=海外</p> <p>③ 3回に分けてインタビューを行う。グループ内で、聞く2人と待機2人に役割を分ける。（3人のところは聞く人2人、待機1人）</p> <p>④ 聞く人はメモ用紙等をもたず、他グループの聞く人に聞き、結果をグループの待っている人に報告する。 ※同じ人に聞けるのは3回まで。3回聞いても Yes が出ない場合は次の人へ。</p> <p>⑤ 待っている人は報告されたことをグループまとめ用紙にメモする。 ※待っている間に表の下の英文を作成する。（後でクラスでシェアするため）</p> <p>⑥ 行ったことがある人を5人見つけたら次の Level へ進んでも良い。</p> <p>・4人グループを作る。 ・ワークシート①（各グループ1枚）を受け取る。 ・聞く人、待機する人に分ける。 ・目標文の確認、練習をする。 ・グループに報告する文の練習をする。 ・インタビュー活動を行う</p>	グループ	<p>○目標を提示する。</p> <p>●日本語も使って説明する。</p> <p>◎積極的にインタビュー活動に取り組んでいるか。[コミュニケーションへの関心・意欲・態度]</p> <p>●場所が思いつかないグループにヒントを与える。 ●海外の国名は英語で書けなくても良い。</p> <p>●文が思い出せない生徒は自分のグループに戻って確認してよいと伝える。</p> <p>●待っている生徒の活動の支援。</p> <p>○指示は英語で行う。</p> <p>○自信を持って発音させる。 ○大きな声で発音させる。</p> <p>○積極的に発表するように促</p>
-----------	----	--	------	--

		(第1回：2分、第2回：2分、第3回：2分) ・グループで作成した文をクラスでシェアする。		す。
まとめと ふりかえり	5	・ワークシート②を受け取る。 ・並べ替え問題（2問）に取り組む。 ・本時の学習内容の確認、自己評価をする。 ・挨拶をする。	個人	●解答を大型テレビに提示する。 ○時間があれば感想をシェアする。

(3) 本時の評価

行ったことがある場所について問答できたか。[コミュニケーションへの関心・意欲・態度]

【Aの目指す姿】＝グループメンバーと協力してメモなどを見ないで積極的に問答できた。

【Bの目指す姿】＝グループメンバーと協力してメモなどを見ないで問答できた

【Cの目指す姿】＝グループメンバーと協力して問答できた

《参考文献》

・NHK CD BOOK 新基礎英語「チャンツで楽習！決定版」NHK 出版 2015

・本多敏幸『英語力がぐんぐん伸びる！コミュニケーション・タイムー13の帯活動&ワークシート』
明治図書 2009